

◆二月六日(土)

△昼の部▽ 午前十一時開演

一	清元	梅の春	花柳	楽人
二	長唄	まかしよ	藤間	直三
三	清元	北州	花柳	奈与染
四	長唄	賤の小田巻	西川	祐璃
五	清元	玉屋	藤間	翔央
六	萩江	鐘の岬	水間	歌央
七	清元	鳥刺	若柳	弥生
八	清元	傀儡師	花柳	寛七郎
九	長唄	俄獅子	坂東	映舞
十	長唄	外記猿	花柳	寿寛聖

△夜の部▽ 午後四時開演

一	長唄	外記猿	花柳	楽彩
二	清元	流星	藤間	眞白
三	長唄	水仙丹前	水木	紅耶
四	清元	梅の春	花柳	綱仁
五	常磐津	屋敷娘	藤間	扇里
六	清元	傀儡師	花柳	寿之真瑠
七	長唄	まかしよ	若柳	三十郎
八	常磐津	お夏	坂東	映佐
九	清元	鳥刺	藤間	勘舞恵
十	清元	文売り	花柳	摂月華

◆二月七日(日)

△昼の部▽ 午前十一時開演

一	清元	梅の春	花柳	まり草
二	長唄	島の千歳	花柳	雅千音
三	清元	傀儡師	坂東	千代弥
四	長唄	田舎巫女	藤間	掬美奈
五	清元	玉屋	若柳	大穂奈美
六	常磐津	三ツ面子守	花柳	杏子
七	清元	流星	若柳	笹三郎
八	常磐津	松の名所	藤間	輝和
九	地歌	善知鳥	吉村	蘭翔
十	清元	北州	藤間	蘭翔

△夜の部▽ 午後四時開演

一	萩江	鐘の岬	花柳	菊小太郎
二	清元	山歸り	坂東	弘二郎
三	長唄	汐汲	水木	輝周
四	清元	玉屋	藤間	季和
五	清元	流星	若見匠	祐助
六	長唄	菊慈童	若柳	恵華
七	長唄	島の千歳	花柳	基紫瑞
八	清元	保名	尾上	菊透
九	常磐津	三ツ面子守	水木	美歩歌
十	清元	北州	花柳	寿万籠

◆二月八日(月・祝)

△昼の部▽ 午前十一時開演

一	清元	傀儡師	泉東	秀彩霞
二	萩江	鐘の岬	坂東	映志保
三	清元	玉屋	西川	扇左衛門
四	清元	北州	勝見	智之
五	地歌	松竹梅	株茂都	咲弥迦
六	常磐津	屋敷娘	花柳	幸結耶
七	清元	流星	花柳	寿々彦
八	常磐津	源太	坂東	絃茂希
九	清元	梅の春	花柳	瑞優萌
十	長唄	水仙丹前	花柳	瑞優萌

△夜の部▽ 午後四時開演

一	長唄	まかしよ	坂東	三奈慧
二	清元	梅の春	花柳	寿之吉
三	長唄	外記猿	花柳	香礼愁
四	清元	京風流曙染	西川	将成
五	萩江	鐘の岬	西川	与梨伽
六	長唄	新曲浦島	花柳	寿美音
七	清元	傀儡師	泉柳	紀乃佑
八	清元	北州	松本	幸凜
九	地歌	雪州	株茂都	梅昭野
十	長唄	島の千歳	西川	扇里治

各流派合同新春舞踊大会

新進の若手舞踊家が日ごろの研鑽の成果を発表するコンクール公演です。古典の日本舞踊を継承、発展させていく人材育成の場として注目されており、優秀者には賞が授与されます。これまでの受賞者は、協会主催「日本舞踊協会公演」や「新作公演」、文化庁主催「文化芸術による子供の育成事業」、国立劇場主催公演など、その活躍の場を広げています。

演奏者連名

長唄
一月六日
一月七日(昼の部)
一月七日(夜の部)
一月八日

清元	清元	清元	清元	清元
美寿太夫	美治郎	和佐太夫	文字蔵	米川敏子
常磐津	常磐津	常磐津	常磐津	常磐津
和佐太夫	文字蔵	和佐太夫	文字蔵	和佐太夫
常磐津	常磐津	常磐津	常磐津	常磐津
米川敏子	米川敏子	米川敏子	米川敏子	米川敏子

審査員(公社)日本舞踊協会役員、有識者

出場者/50歳までの(公社)日本舞踊協会会員

賞/最優秀賞(1名)、大会賞(若干名)、

奨励賞(若干名)、会長賞(大会賞3回受賞者)

受賞者発表/1月15日(月)正午